

<白金標準、22日のBHPの正式なオファーに注目・・・>



(出所：オアシス)

JM社に続き、WPICは2024年第1四半期PGM需給報告を発表し、2024年のプラチナ需給バランスを3月の13トンの供給不足から15トンへ供給不足予想を引き上げている。特にレポートでは現物の500gと1kgは統計に加えていないが、23年の実績で3トンの需要が存在しており、15トン以上の供給不足になると予想される。

またアングロ・アメリカは、BHPの買収額の1割増しの提示も拒否しながら、事業縮小を発表し、ダイヤモンドは撤退、プラチナは分離、石炭は売却の方針を示している。そのためアングロ・アメリカ・プラチナの年間54トンのプラチナの供給に対する不確実性が高まりを見せ、白金標準先物は2013年の5300円を回復すると、週末にはLME市場で非鉄金属のニッケルや銅価格が大きく反発し、NY市場で貴金属価格を押し上げた事からシルバーは11年ぶりに高値を試し、白金は1100ドルを回復する動きを見せ、白金標準先物は2008年以來の5445円まで高値を試している。ただ22日にはBHPの正式なオファー期限であり、買収を断念する様であれば、目先は調整が起こる可能性は高いと思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDが上昇し、シグナルも上昇を行っている。またRCIでも短期が+100%で横ばいし、中期は+99%で切り上げるなど強気を示唆していると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,445,000 円(2024 年 5 月 20 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 76,560 円(2024 年 5 月 20 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>